

# 川上ダム通信

2014  
3  
月号



Vol. 102

Since 2005

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所

〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。

<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索

ご意見・ご感想はこちらへ <mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>



## 事業用地内の異変を早期発見！職員による定期パト

当建設所では、事業を進めるために取得した土地の適切な管理と環境異変の早期発見を目的としてパトロールを行っています。

パトロールは定期的に職員が交代で実施し、不法投棄がないか、倒木、崩落、落石など通行に支障となる箇所やその危険が予測される箇所はないか、また、河川が濁っていないかなどに注意を払っています。

時として、心ない者が橋の上から捨てた弁当のゴミや空き缶、また、粗大ゴミが捨てられている事もあります。小さなゴミなどは発見次第回収しますが、粗大ゴミなどについては、警察や道路管理者等に協力を求め、不法投棄者の追跡や容易に進入できないようにバリケードを設置するなど、不法投棄を防止する対策も行っています。

今後も、環境保全とあわせ、事業用地内の適切な管理を行って参ります。



崩落がないかチェック中！

【第二用地課 高橋宏行】

## 川上ダム通信100号発刊 新聞で紹介！

平成26年1月22日の読売新聞に「川上ダム通信」創刊100号発行の記事が掲載されました。

通算100号という区切りのよさか、はたまた職員手作りというところが目にとまったのか、記事掲載の2日前、読売新聞の記者が当建設所へ取材にいらっしゃいました。「100号まで発行し続けることは大変だったでしょう」と、日々新聞紙面づくりに努力されているプロの方から“お褒めの言葉”を頂戴し、平成17年5月創刊から発行に関わってきた多くの職員の頑張りが報われた思いがします。引き続き200号、300号の発行をめざして頑張っていきたいと思えます。



平成26年1月22日読売新聞の記事

【総務課 梅村喜重】

# 交通事故ゼロを目指して

平成25年12月2日（月）と3日（火）、川上ダム建設所では、職員の交通事故防止と交通安全への意識向上を目的として、三重県交通安全研修センター（津市）において交通安全講習を受けました。

屋外での講習では、濡れた路面での実車を使った急ブレーキ操作体験がありました。時速30kmしか出ていないのに、たっぷり水をまいた路面で急ブレーキを踏むと、つるつる滑ってなかなか止まらず、挙句の果てには人に見立てたマーカーの真上を通過・・・！

屋内の講習では、運転シミュレーターを操作しました。周りを見て、気をつけているにもかかわらず、何回も事故を起こしてしまい、これが実際の道路上であったら・・・と恐ろしく思い、今後はさらに安全運転をしようと気を引き締めました。

川上ダムでは今年度、このほかに警察署による安全運転講習と社団法人日本自動車連盟三重支部による講習を受講し、交通事故防止等に努めてきました。引き続き、職員が事故を起こさない、また事故に遭わないよう、様々な取り組みを行うとともに、普段から交通安全への意識を高くもち、ゆとりのある慎重な運転を心がけていきます。



と、止まらない・・・



うまくいかない・・・

【総務課 菊地滋男】

# 今年1年の安全を願って

2月上旬、所内の安全祈願のため、職員有志6名が当建設所のすぐ近くにある大村神社へお参りました。

拝殿内で宮司によるお祓いを受けて無事故・無災害を一同で祈願し、絵馬も奉納しました。

もちろん、“神頼み”だけで事故や災害がなくなるわけではありませんが、キーンと冷えわたった拝殿で拝礼して柏手を打つと、身も心も引き締め、改めて安全に対する意識が高まった気がしました。

今年1年もまた事業における労働災害ゼロを目指し、安全対策に万全を期して参ります。



絵馬の奉納所（大村神社）

【工事課 金井大輔】

# ダム用語集 #1 ダムカード

この度、読者の皆様に少しでもダムに関する用語を覚えて頂き、ダムに対して興味を持って頂けるよう、「ダム用語集」のコーナーを開設しました！

今回は「**ダムカード**」についてご紹介します♪

「ダムカード」とは、より多くの人々にダムの事をたくさん知ってもらうため、それぞれのダムの紹介をしているカードです。

カードの大きさや掲載する情報項目などは、全国で統一したものになっており、おもて面はダムの写真、うら面はダムの形式や貯水池の容量・ダムを建設したときの技術等といった基本的な情報からちょっとマニアックな情報までを凝縮して載せています。

このカードは、平成19年から国土交通省と当機構の管理する施設で配布を開始し、現在では、一部の都道府県や発電事業者の管理する施設などでも作成されるようになりました。カードの配布は、ダムなどの管理事務所やその周辺施設のみで配布されていることから、マニアの方々の関心も集めているようです。

川上ダム建設予定地の近隣ダムでは、当機構木津川ダム総合管理所で管理する青蓮寺ダム・比奈知ダム（三重県名張市）、室生ダム（奈良県宇陀市）、布目ダム（奈良県奈良市）、高山ダム（京都府相楽郡南山城村）で配布しています。

まだ寒さ残る今日この頃ですが、もうじき春が訪れます。春一番のお出かけに、ダムカード集めを兼ねて「ダム巡り」なんて如何でしょうか♪

※ダムカードに関する情報は、以下HPに記載されておりますので、是非ご覧ください。

国土交通省HP：<http://www.mlit.go.jp/river/kankyo/campaign/shunnkan/damcard.html>

水資源機構HP：<http://www.water.go.jp/honsya/honsya/damcard/>

【調査設計課 遠本和也】



木津川ダム総合管理所所管の5ダムで  
配布されているダムカード

# 環境用語集 #19 菜種梅雨

みなさん、『<sup>なたねづゆ</sup>菜種梅雨』という言葉をご存知ですか？

3月の中旬頃にもなると、これまで続いた「日本海側は雪、太平洋側は晴れ」という典型的な冬の天候の特徴が終わりを迎えます。代わって、天気が数日の周期で変わるようになり、何日も曇りや雨の日が続くようになり、この時期の長雨は、ちょうど菜の花が咲く頃であることから、『菜種梅雨』と呼ばれています。

また、この頃のあまり強くなく、しとしとと降る優しい雨のことを「<sup>はるさめ</sup>春雨」と呼んでいます。

この時期は、畑作の種まきや植え付けを行う作物が多く、また、田植えを控えていることから、『菜種梅雨』による雨は農業にとっては重要となるので、日照不足にならない程度の『菜種梅雨』が望まれています。



※参照：気象庁HP

【環境課 飯島芳則】

